

座席番号	
受験番号	
氏名	
合計得点	

二〇一九年度 普連土学園中学校入学試験

二〇一九年二月四日実施

四日午前四科 国語 解答用紙 一

問題一

問一

㉑

㉒

問二

考えたことを口にだすという人間の能力を發揮しないのであれば、それは人間とは言えないから。

問三

何か自分に責任のふりかかるといえるような時や、自分にわからないことを聞かれた時など、自分の判断で口をきかなければならないような時は、黙っている方が安全だというもの。

問四

A

B

問五

大多数が、自分のはっきりした考えをもっていないか、もっていたとしてもそれをはっきり主張する気持ちがよわいから。

問六

わ  
か  
ら  
な  
い  
こ  
と

く

精  
神  
的  
な  
安  
定  
感

問七

ものを言い、考えのやりとりをして、その結果について自分で反省をつみ重ねてできるものであり、すぐに身につくようなものではないから。

問八

問九

ア

イ

ウ

エ

オ

問題二

問一

㉑

㉒

問二

塾の実力テストの勉強をしていた。

問三

仙太郎には、白石が示した塾の問題が解けないのではないかとということ。

問四

塾に通うみゆき達を自分たちと一緒にになって責めていた法子が、入塾テストを受けていたことがわかったから。

座席番号	
受験番号	
氏名	
合計得点	

問五 真理子の余計な一言のせい  
 自分たちが早退しようとしていた理由を、仙太郎に問い詰められることになるのではないかと畏れたから。

問六 学校は、勉強をするところであるばかりでなく、友達との関係性の中で助け合いや思いやりの気持ちを学ぶ場でもあるので、学校に来るべきであるということ。

問七 自分より塾の先生の方が信用できると言われたから。

問八  
 ウ

問九  
 エ

問題三

① 陛下  
 ② 悲劇  
 ③ 建築

④ 導  
 ⑤ 純情

⑥ こめだわら  
 ⑦ やちん  
 ⑧ ふんぱつ

⑨ あず  
 ⑩ ま

問題四

① イ  
 ② ウ  
 ③ キ  
 ④ コ  
 ⑤ ク

⑥ エ  
 ⑦ カ  
 ⑧ ケ  
 ⑨ サ  
 ⑩ オ

問題五

① イ  
 ② オ  
 ③ エ  
 ④ ア  
 ⑤ キ

⑥ コ  
 ⑦ ウ  
 ⑧ サ  
 ⑨ シ  
 ⑩ ケ